

# KYODO PR Business Report

---

第58期(2021年12月期)中間株主通信

---



## 【経営理念】

我々は情熱と創造性で  
顧客の課題解決を図り  
100年のコミュニケーションをつなぐ  
PRエージェンシーである。

## 【ビジョン】

# No.1 PR

## 【当社の特徴】

### 「統合的なPRサービス」

当社ではPR戦略の立案から  
実行までをワンストップで行う  
専任チーム、危機管理、海外PR、  
デジタルコミュニケーションなどの  
高い専門性を有する専門チームを有し、  
これらのチームが連携し、  
統合的なPRサービス  
を提供しています。

### 「メディアリレーションズ」

PR会社の主な業務には、  
新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・  
Webなど様々なメディアに  
クライアントの情報提供を行う  
「メディアリレーションズ(当社商標)」が  
あります。現場から幹部層までが  
長年培ってきた重層的で強固な  
メディアネットワーク力は、  
当社最大の資産です。

### 「PR業界への貢献」

当社は直接企業や団体などに  
PRサービスを提供するだけでなく、  
PR業界の活性化につながる  
情報の提供をPR総研を通じて  
行っています。  
また、「広報の学校」「デジマナ」を通じて、  
広報・PR人材の育成に  
つながる活動を行っています。

## Top Message | 株主の皆様へ |



代表取締役社長

谷 鉄也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第58期(2021年12月期)上半期連結業績の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、新規リテイナー顧客の獲得と、新規顧客及び既存顧客からのオプション&スポット案件の獲得に注力いたしました。

売上高におきましては、官公庁関連クライアントや外資系IT・情報通信・テクノロジー関連クライアント等、想定以上の受注を獲得いたしました。販管費につきましては、本社移転に伴う一時的な費用として消耗品費、地代家賃等の管理費の増加要因がありましたが、売上高増加に伴い、計画通りの計上となり、売上および利益ともに予想を大幅に上回る結果となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,618百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益180百万円(同531.6%増)、経常利益188百万円(同853.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益113百万円(前年同期は72百万円の損失)となりました。

当社は6月、37年ぶりに本社を移転いたしました。本年をリブランディング元年と掲げ、コロナ禍における新しいオフィス環境の中、DXを中心とした様々な施策を推進しております。引合いが急増している「オンライン記者会見」に対応するライブ配信スタジオの設備やSNS監視ツール「ブランテック」など時代のニーズにあった新商品の開発、また、社員のパフォーマンス最大化を目指す様々な社内ツールの整備など、顧客に新たな価値を創出すべく取り組んでいます。今後一層精進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

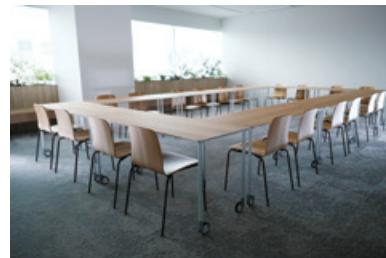
単位:百万円 ( )は前年同期比

当第2四半期の概要		通期の見通し		2021年12月配当予定
売上高	<b>2,618</b> (12.8%増)	売上高	<b>5,250</b> (5.2%増)	1株当たり <b>12.00</b> 円
営業利益	<b>180</b> (531.6%増)	営業利益	<b>200</b> (27.8%増)	
経常利益	<b>188</b> (853.4%増)	経常利益	<b>200</b> (32.4%増)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>113</b> (-)	親会社株主に帰属 する当期純利益	<b>120</b> (848.5%増)	

### 本社オフィスを銀座松竹スクエアへ移転

今年6月28日、当社は37年ぶりに本社を築地にある銀座松竹スクエアへ移転いたしました。新オフィスは、日本を代表する建築家の隈研吾氏によってデザイン監修されたエントランスがお客様を迎え、リブランディングを掲げ新たなステージへと進む当社の象徴となっています。また、より質の高いデジタル推進化に対応できるよう「ライブ配信スタジオ」を設置し、案件の強化や新規獲得に一翼を担う環境が整いました。

当社は、テレワークやライブ配信スタジオなどを取り入れた新しい環境のもとで、より一層顧客へ付加価値を提供できるよう、今後ますます鋭意邁進してまいります。



---

### 大手菓子メーカー「シャトレゼ」の戦略的広報を実施

国内590店舗、海外8ヶ国100店舗を展開する大手菓子メーカーである株式会社シャトレゼの広報活動を、2019年からサポートしています。同社は都内に支社を持たないため、山梨県甲府市にある本社広報室と連携を取りながら、テレビを中心とした主要メディアへの情報発信をはじめ、メディアリレーションの構築、取材アレンジのコーディネート等を実施いたしました。長期的な戦略的広報の結果、キー局の大型バラエティ特番や地域局での放映を実現させ、認知度の拡大と店舗顧客数増に貢献いたしました。また、SNSなどでの情報拡散施策のため、都内のイベント会場を借りての商品試食発表会を開催し、主要WEBメディアやインフルエンサーを招集した戦略的な情報発信を現在も行っています。



## 老舗焼酎メーカーでPRの立ち上げから販売戦略をサポート

「さつま白波」で知られる国民的焼酎メーカーの薩摩酒造株式会社は、これまでCM・広告を中心にプロモーションを展開していましたが、新たな試みとしてPRを実施することとなり、当社がそのPRをサポートいたしました。2021年1月のスタートからわずか半年間で、ECサイトへの集客など顕著な実績を残すことができ、クライアントからも今後はPRに大きく舵を切っていきたいと、PRの可能性に期待を寄せていただいています。増え続ける情報の中で、企業はいかにコミュニケーションをとっていか試行錯誤しており、PRは新しい販売戦略をも導き出せることが明らかとなりました。今後はその力で、同社を焼酎市場のトップに振り返り咲かせるべく、引き続きサポートを続けてまいります。



---

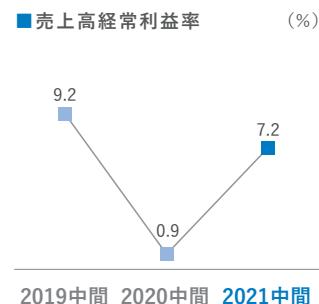
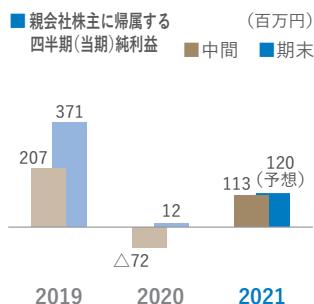
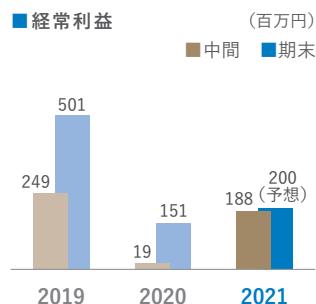
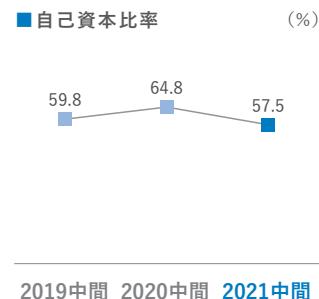
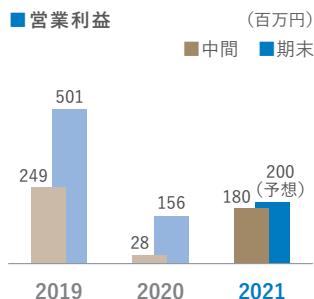
## 劇場映画、ホーム・エンターテインメント分野でもPR展開

当社子会社の株式会社マンハッタンピープルは、従来の中心事業である劇場公開映画の宣伝に加え、新たに配信およびゲームに代表されるホーム・エンターテインメント分野の宣伝にも大きな成果を得た期となりました。

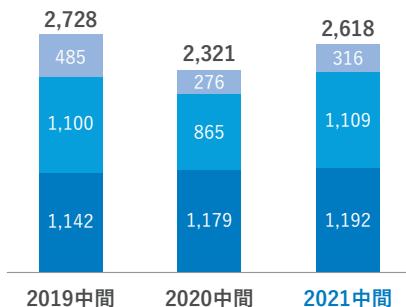
劇場公開映画では4月公開「るろうに剣心 最終章ザ・ファイナル」と、6月公開「るろうに剣心 最終章ザ・ビギニング」の完結2部作を、感染症対策を施した劇場公開にもかかわらず記録的な大ヒットとすることができました。また、ホーム・エンターテインメント分野では、Netflix配信ドラマ「全裸監督シーズン2」の宣伝を担当し、ゲーム分野では、正月にかけて行われたコナミのeスポーツ・リーグ「eBASEBALL パワフルプロ野球2020」をニュースで速報、また、中国レスター社「イース6 ON LINE」の日本ローンチ宣伝(初登場1位)と、それぞれ成功裏に終えることができました。



# Financial Highlight | 決算ハイライト(連結) |



■業務区分別売上高(単位:百万円) ■リテイナー ■オプション&スポット ■ペイドパブリシティ



**リテイナー** …… 企業などの広報活動を6ヶ月以上の契約をもって支援及びコンサルティングしていくものです。PR戦略の策定からパブリシティ(記事化)業務、不祥事発生時の危機管理広報対応支援など幅広いサービスを行っています。

**オプション** …… リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービスを言います。

**スポット** …… 企業などの6ヶ月未満の広報活動支援を言います。ニュースリリースの作成・配信などのパブリシティ活動から、展示会や美術展等の開催告知目的のPR活動、記者発表会の企画・運営等まで各種のニーズに対応します。

**ペイドパブリシティ** …… 新聞や雑誌等の特定のページを購入して、顧客の意図する内容を記事形式で掲載していく手法を言います。

# Company Profile | 会社情報 |

## ■取締役

(2021年6月30日現在)

取締役会長	古賀 尚文
代表取締役社長	谷 鉄也
取締役	沼田 英之
取締役	木村 忠久
取締役	信澤 勝之
取締役	松川 和正
取締役	立花 圭亮
取締役(非常勤)	尼崎 勝司
社外取締役 監査等委員	高橋 千秋
社外取締役 監査等委員	安藤 教嗣
社外取締役 監査等委員	鈴木 修

※社外取締役である高橋千秋氏、安藤教嗣氏、鈴木修氏は、株式会社東京証券取引所の規定する独立役員であります。

## ■大株主

(2021年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
株式会社新東通信	1,437,396株	34.95%
株式会社テクノグローバル研究所	552,800株	13.44%
佐藤 友亮	120,000株	2.92%
谷 鉄也	117,288株	2.85%
共Pグループ従業員持株会	105,700株	2.57%
山本 文彦	82,500株	2.01%
上村 巍	67,200株	1.63%
鈴木 泰弘	57,300株	1.39%
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUF G証券株式会社)	50,300株	1.22%
SMB C日興証券株式会社	47,900株	1.16%

※持株比率は自己株式(180,936株)を控除して計算しております。  
また、自己株式につきましては、上記の表から除外しております。

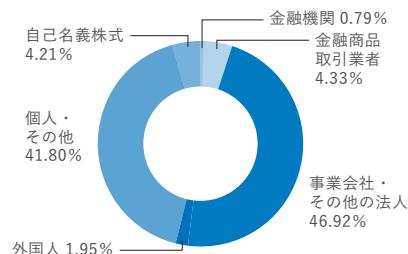
## ■株式状況

(2021年6月30日現在)

発行可能株式総数	15,120,000株
発行済株式の総数	4,293,996株
株主数	2,441名

## ■所有者別株式分布状況

(2021年6月30日現在)



## HPのご案内

トップページ <https://www.kyodo-pr.co.jp/>



当社の会社情報や様々なPRの実績をご覧になることができます。

IR案内 <https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/>



各種開示資料や冊子ではお伝えしきれなかった財務の情報がまとめられています。

社 名 共同ピーアール株式会社(証券コード:2436)  
KYODO PUBLIC RELATIONS CO., LTD.  
所在地 〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア  
電話:03-6260-4850(代) FAX:03-6260-4851  
創 業 1964年(昭和39年)11月14日  
資本金 5億3,320万円  
社員数 199名(単体)、244名(連結)  
(2021年6月30日現在)